

向上無限

生徒一人ひとりの可能性は∞無限大



学校便り
校長 仲盛康治
『心一つに』
『誰かの笑顔のために』
『明日が待ち遠しい学会』

最高の卒業式！！

49期生は、入学式から卒業式まで新型コロナウイルスの影響を受けた学年。それでもラストは、マスクを外し、保護者や在校生に見守られ巣立っていきました。卒業証書を受け取る笑顔、が忘れられません。式最後には、先生方への感謝状授与などのサプライズがあり、涙のシーンがありました。子供も大人も城北中で出会えて良かったと思える最高の瞬間でした。



令和4年度第49回卒業式 校長式辞

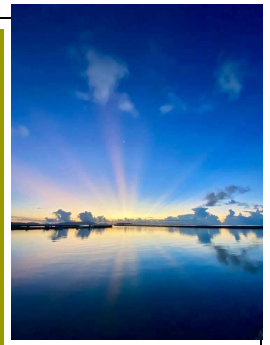
第49期生のみなさん、卒業おめでとうございます。皆さんは、3年間の中学生生活で校訓の向上無限を実践し、これから生きていく上で大切な数多くのことを学んだことと思います。中学校を卒業し進む道はそれぞれ違っても、皆さんの前途には、希望に満ちた洋々たる人生が待っています。

さて、49期生は、入学してこれまで3年間、新型コロナウイルスの影響を受け様々なことが制限された中、学習活動、文化、スポーツ活動、生徒会活動、各種検定や「ボランティア活動、生徒主体の特色ある行事等、チャレンジ精神旺盛で粘り強く前向きに取り組んできました。逆境から立ち上がり挑戦する思いは、その後も途絶えることなく現在進行形中です。城北中学校が魅力あふれる学校となっているのは、49期生を核とした在校生の皆さんのおかげです。城北中創立50周年を控え、「未来に誇れる・未来につなげる50周年」を目指し、49期生の諸活動は、後輩や地域の皆の模範となっています。皆さんの存在は、後輩や保護者はじめ、教職員一同含め、たくさんの元気と希望をプレゼントしてくれました。みなさんは後輩や保護者はもちろん、城北中教職員、地域の誇りです。

義務教育を終え、皆さんは、それぞれの道を歩んでいくことでしょう。皆さん一人ひとりの夢が叶うのはもしかすると時間がかかるかも知れません。しかし、どんな困難なことでも全ては足元の一步から始まります。自分の夢を夢で終わらせてはいけません。夢そのものになるために今の自分に何ができるのかを大いに悩みながら見つけ出してください。そして今できることを途中であきらめず粘り強くやりきってください。その姿を見せることが親や先生方への最高の恩返しです。この度、晴れて卒業される大事な節目にあたって、みなさん一人ひとりが未来社会の担い手として、たくましく大きく成長されることを切に願ってやみません。

さて、艱難辛苦を乗り越えて、これまでお子様を見守り、励まし、深い愛情で育てこられた保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。お子さまと出会えた私たち教職員は幸せものです。3年前の入学式、大切なお子さまをお預かりし、お子さまの「生きる力」の育成に向け、教職員一丸となって教育活動に取り組んで参りました。泣いたり笑ったりしたあの日あの時、幾多な出来事がありました。私たち教職員一同、卒業を迎える日にお子さまや保護者の皆様から「城北中に入学して良かった。入学させて良かった」とお言葉がいただける事を夢見てこれまでやってきました。本日の卒業式を迎え、今後も引き続き、本校や地域のため精進していくことをお約束します。結びに入学式から卒業式にかけ、新型コロナと向き合いながら過ごしてきた時間を糧に、これからの予測がつかないといわれる社会で、困難やピンチをしのぎ、心一つにして大きく成長することを願い式辞と致します。

令和5年3月11日
那覇市立城北中学校
校長 仲盛康治



ちよつと待ったー
三年の先生方舞台へど
うぞ！
サプライズの感謝状授
涙が止まらない！



「城北中に入学して良かった。入学させて良かった」とお言葉がいただけ
る事を夢見てこれまでや
つてきました。
夢実現の瞬間です。

晴れ晴れとした笑顔！
四九期生の存在は、先輩や保護者はじめ、教職員一同含
め、たくさんの方の元氣と希望をプレゼントしてくれました。
みなさんは後輩や保護者はもちろん、城北中教職員、地
域の誇りです。



保護者や地域の皆様へ

誰かの笑顔のために自ら気づき考え行動する生徒の育成！
～未来を生きる子供もたちに必要な力を目指して！城北中の取組～

本校の魅力は、「誰かの笑顔のために自ら気づき考え行動する生徒の育成！」です。これは、目指す生徒像でもあります。また元気な学校づくりのコンセプトと称して3つの合い言葉があります。「心一つに」「誰かの笑顔のために」「明日が待ち遠しい学び舎」です。子供も大人も同じバクトルで進んでいきましょうとお願いしています。さて、それではどんなことをしているのでしょうか？ それは、総合的な学習を核としたキャリア教育の推進＋特色ある生徒会活動＝自律・自治能力の育成に力を入れています。総合的な学習では、異年齢グループによる探究学習・プレゼンを実施します。例年「スポーツ等のトレーニング系」「スイーツ系」「SDGs系」「周年事業系」「実験系」「株式投資」等様々なジャンルを探究し、皆の前で発表しました。「伝える力」はしっかり身についたと思います。それと相まって特色ある生徒会活動が元気です。生徒会主催行事の企画運営、生徒主体の校則改正の取組、教職員研修の実践発表等数え上げればきりがありません。先述の「誰かの笑顔のために自ら気づき考え行動する生徒の育成」には、「未来を生きる子供たちに必要な力」が起因します。「未来を生きる子供たちに必要な力」の上位に「自律・自治」が構えています。それを身につけるために

- ①課題発見・解決能力
- ②試行錯誤を続ける力
- ③メタ認知能力（自分の考え、感じること、記憶する、判断する力を客観的に見て自分自身をコントロールする力）
- ④情報活用能力
- ⑤人を動かし巻き込む力
- ⑥ゼロから価値を生み出す力
- ⑦感情をコントロールする力

以上が必要となるのです。子供たちは、自分たちで企画運営する行事や取組は目の色を変えて実践します。大人の考えや行動力を上回る凄さがあります。あと十数年後日本社会の働き盛り世代の数と高齢者の数が逆転する厳しい現実が待ち受けると言われています。その状況を打破するために人口の増加や生産性の向上などを目的とした様々な取組が行われるはずですが、

今こそ私たち大人が、次世代のために「心一つに」「誰かの笑顔のために」「明日が待ち遠しい学び舎」（※学び舎は、家族・社会等に置き換えてもOK！）を合い言葉に進もうではありませんか！

第19代校長 仲盛康治
2023/03/31

